

花のある空間

大高 令子

5月のフラワートピアリー

鳥や動物をかたどったり、デザイン的に刈り込まれた庭木を“トピアリー”といいます。フランスの整形式庭園における代表的な造形物のひとつです。

フラワーアレンジのシーンにおいても、花をトピアリーに見立てるデザインはメジャーなものです。

母の日のある5月、カーネーションをデザイン的に使って、小さなフラワートピアリーをアレンジしましょう。

まず器を用意して、フローラルフォームをセットします。ある程度高さのある器のほうが、プロポーションよくまとまります。

次に1本、中心となる花を器に向かって真っすぐ垂直に挿します。続いて、中心の花に対して順次同心円状にバランスよく2種の花を挿し進め、全体がおおよそ球体に見えるようにアレンジします。

それぞれの花の茎は、中心の花の茎から離れないように、あたかも1本の木の幹に見えるように挿していきます。

外側に向かうに従ってやや短めに挿すことで、球体に見えるようになります。

一通り挿し終わったら、花のすぐ下あたりをリボンで縛り固定し、周りにローズマリーを挿してグラウンドをつくり完成です。

技巧的なデザインが、アレンジの楽しさを広げるでしょう。



今月の花材

カーネーション…… ひだが密集したような花

スカビオサ…… 中央が凸状になった丸い花

ローズマリー…… 紫色の花をつけた緑の枝葉

その他…… 高さのある花器、リボン、
フローラルフォーム（フラワーアレンジメント用のスポンジ）

おおたか れいこ <https://rencontrer.jp/>

花のアトリエ「ランコントレ」主宰。フランスで培ったフローラルワークを手がける。